

## 1. 略歴

- 1984年3月 お茶の水女子大学文教育学部哲学科 卒業（倫理学専攻）  
1984年4月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程入学（倫理学専門課程）  
1986年3月 同 修了  
1986年4月 東京大学大学院人文科学研究科博士課程進学（倫理学専門課程）  
1991年3月 同 単位取得退学  
1991年4月 山口大学人文学部日本思想史学講座専任講師  
1994年3月 東京大学大学院人文科学研究科において博士号（文学）を取得  
1995年7月 山口大学人文学部日本思想史学 助教授  
1996年4月 お茶の水女子大学文教育学部哲学科助教授（倫理学専攻）  
2007年4月 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科准教授（比較社会文化学専攻思想文化学コース）  
（改組に伴う配置換え）  
2011年1月 同 教授  
2013年4月 東京大学大学院人文社会系研究科教授

## 2. 主な研究活動

### a 主要業績

#### (1) 著書

- 『道元——自己・時間・世界はどのように成立するのか』NHK出版, 2005年, 全126頁  
『日本の仏教思想——原文で読む仏教入門』北樹出版, 2010年, 全217頁  
『道元の世界——大乗仏教の真髄を読み解く』NHK出版, 2011年, 全284頁

#### (2) 編著

- 『比較宗教への途1 人間の文化と宗教』（保坂俊司・新免光比呂・佐藤貢悦氏との共著）北樹出版, 1994年（仏教関係項目 担当）  
『比較宗教への途1 人間の文化と宗教』（増補版）北樹出版, 2000年（上記のほか、神道関係項目 担当）  
『比較宗教への途2 人間の社会と宗教』（保坂俊司・新免光比呂氏との共著）北樹出版, 1998年（仏教関係項目 担当）  
『比較宗教への途3 人間の文化と神秘主義』（吉村均・保坂俊司・新免光比呂氏との共著）北樹出版, 2005年（「序章 神秘主義とは何か」15-51頁, 「第5章 中国における神秘主義」193-211頁, 「第6章 日本における神秘主義」212-224頁 担当）  
『浄土教の事典——法然・親鸞・一遍の世界』（西城宗隆・保坂俊司氏との共編著, 峰島旭雄 監修）東京堂出版, 2011年, 全383頁

#### (3) 翻訳

- ヘルマン・オームス『徳川イデオロギー』（黒住真・豊澤一・清水正之氏との共訳）ペリかん社, 1990年, 299-367頁担当  
スレイマン・バシール・ディアニュー「地球を全的なものに」（ジェローム・バンデ編, 服部英二・立木教夫監訳）『地球との和解——人類と地球にはどのような未来があるのか』麗澤大学出版会, 2009年, 189-201頁担当

#### (4) 論文

- 「道元の証の世界についての一考察——その時間論を手がかりとして」『倫理学年報』第37集, 日本倫理学会, 1988年, 175-191頁  
「和辻哲郎と解釈学——比較思想的探求」『比較思想研究』第14号, 比較思想学会, 1988年, 86-95頁（比較思想学会第2回研究奨励賞受賞）  
「和辻哲郎と仏教——空の弁証法」『比較思想研究』第14号, 比較思想学会, 1988年, 134-137頁  
「和辻倫理学と天皇制——「祀る」神と「祀られる」神を手がかりとして」『淳心学報』第6号, 現代人文科学研究所, 1988年, 26-40頁  
「日本古代における「カミ」信仰と仏教受容に関する一考察——『日本霊異記』に即して」『淳心学報』第7号, 現代人文科学研究所, 1989年, 3-26頁

- 「正法眼蔵『全機』巻注解」『比較思想』第8号, 比較宗教哲学研究会, 1989年, 24-37頁
- 「道元の世界認識に関する一考察——『正法眼蔵』「山水経」巻等をてがかりとして」『倫理学紀要』第6輯, 東京大学文学部倫理学研究室, 1990年, 89-112頁
- 「道元と空海——証りと即身成仏」『比較思想研究』第18号, 比較思想学会, 1991年, 78-87頁
- 「日本古代における超越観念の一側面——『日本霊異記』における「霊異なるもの」の諸相をめぐって」文部省平成2年度科学研究費補助金 一般研究(B) 研究成果報告書『古代日本の言語と習俗にあらわれた倫理の研究』(研究課題番号63450007), 1991年, 1-21頁
- 「諸悪莫作——道元における善と悪」『道徳と教育』No.275, 日本道徳教育学会, 1992年, 67-71頁
- 「近代日本における死生観の様態——『東京物語』をめぐって」『平和と宗教』第11号, 庭野平和財団, 1992年, 87-116頁
- 「『正法眼蔵』「諸悪莫作」巻にあらわれた道元の善悪観をめぐる一考察」『アジアの歴史と文化』第1輯, 山口大学歴史と文化を考える会, 1992年, 1-42頁
- 「近代日本における自己観念に関する一考察」『研究助成報告論文集 第4回』, 上廣倫理財団, 1993年, 265-304頁
- 「神話の発生に関する一考察——折口信夫の「まれびと」論をてがかりとして」『淳心学报』第10号, 現代人文科学研究会, 1993年, 128-141頁
- 「和辻哲郎の思想における「かたち」の意義」小泉仰編『講座比較思想』第2巻, 北樹出版, 1993年, 204-228頁
- 「道元における善と悪——『正法眼蔵』「諸悪莫作」巻の註解のこころみ」『山口大学哲学研究』第3号, 山口大学哲学研究会, 1994年, 53-151頁
- 「『正法眼蔵随聞記』巻二の「南泉斬猫」段をめぐる一考察」『日本の仏教 ①仏教史を見なおす』法蔵館, 1994年, 190-204頁
- 「出口なおについての一考察——近代日本の女性と宗教」『平和と宗教』第15号, 庭野平和財団, 1996年, 69-83頁
- 「宮沢賢治に関する一考察——他界の諸相を手がかりとして」『季刊日本思想史』第50号, ペリかん社, 1997年, 17-39頁
- 「近代日本における「他者」」実存思想協会編『実存思想論集12 他者』理想社, 1997年, 77-98頁
- 「宮沢賢治と輪廻思想」『東西における知の探究 峰島旭雄教授古稀記念論集』北樹出版, 1998年, 419-430頁
- 「神道の諸問題に関する一考察——宗教と教育を考えるてがかりとして」『道徳と教育』No.300, 日本道徳教育学会, 1999年, 33-41頁
- 「現代日本における宗教教育に関する一考察——その必要性和憲法的根拠」『人文科学紀要』第53巻, お茶の水女子大学, 2000年, 499-513頁
- 「和辻哲郎と仏教」『現代思想・文学と仏教』(現代日本と仏教 第3巻) 平凡社, 2000年, 191-205頁
- 「宗教教育の必要性和教育の中立性をめぐって」『道徳と教育』No.304・5, 日本道徳教育学会, 2000年, 159-64頁
- 「無常の思想——道元をてがかりとして」竹内整一, 古東哲明編『ニヒリズムからの出発』ナカニシヤ出版, 2001年, 89-109頁
- 「道徳と宗教——盤珪をてがかりにして」『道徳と教育』No.312・3, 日本道徳教育学会, 2002年, 226-235頁
- 「道元の生死観——生死即涅槃・住法位・三世の因果」『季刊日本思想史』第62号, ペリかん社, 2002年, 29-44頁
- 「道元における確実なる世界について——『正法眼蔵』「一願明珠」巻を手がかりとして」『人文科学紀要』第56号, お茶の水女子大学, 2003年, 27-41頁
- 「道元の因果観をめぐって——倫理思想という観点からみた道元の思想」『人間文化年報』第26号, お茶の水女子大学大学院人間文化研究科, 2003年, 18-25頁
- 「因果観をてがかりとした道元の行為の理論の研究」文部省平成12~14年度科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) 研究成果報告書『因果観をてがかりとした道元の行為の理論の研究』(研究課題番号12610035), 研究代表者: 佐藤(頼住)光子, 2003年, 1-51頁
- 「中国仏教における「因果」観念の展開に関する覚書——後漢より南北朝期にいたる「因果」観念の諸相について」『人文科学紀要』第57号, お茶の水女子大学, 2004年, 75-88頁
- 「仏教の「因果」観念の成立と展開に関する覚書——仏教以前と初期仏教における「因果」観念について」『人間文化研究年報』第27号, お茶の水女子大学, 2004年, 12-19頁

- 「日本近代における神秘主義の一樣態——綱島梁川の「見神の実験」をめぐって」『人文科学研究』第1巻, お茶の水女子大学, 2005年, 15-27頁
- 「宗教と倫理をめぐる一考察——道元の二つの因果観をてがかりとして」文部科学省平成15～17年度科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) 研究成果報告書『時間論をてがかりとした道元思想構造の総合的研究』(研究課題番号15520010), 研究代表者: 頼住光子, 2006年, 1-11頁
- 「道元と親鸞における『悪』の問題をめぐって——比較思想的試論」上掲報告書, 13-19頁
- “A Study of a Position of Ethics in Japanese Mahayana Buddhism”, 上掲報告書, pp. 41-43.
- 「仏教と日本人の道德教育に関する一考察」上掲報告書, 45-68頁
- 「思想史の中の飛天」上掲報告書, 69-78頁
- 「親鸞の「仏性」思想について——その源流と展開」『人文科学研究』第3巻, お茶の水女子大学, 2007年, 1-13頁
- 「日本仏教における「徳」をめぐって」黒住真編著『思想の身体 徳の巻』春秋社, 2007年, 127-160頁
- “Ethics and Language in Japanese Mahayana Buddhism”, 魅力ある大学院イニシアティブ『<対話>と<深化>の次世代女性リーダーの育成』(平成18年度活動報告書), お茶の水女子大学大学院人間文化研究科, 2007年, pp.51-53.
- 「道元の仏性論——「仏性」思想展開の観点から」『日本仏教総合研究』第5号, 日本仏教総合研究会, 2007年, 287-292頁
- 「中国禅宗の因果観に関する一考察——「罪性空」をてがかりとして」『人文科学研究』第4巻, お茶の水女子大学, 2008年, 1-13頁
- 「仏教における心の教育」尾田幸雄監修『日本人の心の教育』, 官公庁文献研究会, 2008年, 137-177頁
- 「『悪』の宗教的意義に関する一考察——親鸞と道元をめぐる比較思想的探求」『人文科学研究』第5巻, お茶の水女子大学, 2009年, 41-53頁
- 「仏教における「食」」『大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」平成20年度活動報告書 学内教育事業編』, お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科, 2009年, 301-309頁
- 「道元と親鸞の「仏性」観をめぐる比較思想的探求」峰島旭雄先生傘寿記念論文集編集委員会編『いゝのち』の流れ』北樹出版, 2009年, 83-98頁
- 「道元における「さとり」と修行——『正法眼蔵』「現成公案」巻をてがかりとして」『日本研究所紀要』第4号, 神田外語大学日本研究所, 2009年, 27-62頁
- “On Dogen’s Thought of Religious Practice and Enlightenment – An Attempt to Read *Genjo-Koan* of *Shobo-genzo*”, 『大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」平成21年度活動報告書 学内教育事業編』, お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科, 2010年, pp.32-36.
- 「聖徳太子の片岡山説話についての一考察」『大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」平成21年度活動報告書 学内教育事業編』, お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科, 2010年, 237-244頁
- 「親鸞における「自己」と「他力」——その連続性と非連続性をめぐって」『人文科学研究』第6巻, お茶の水女子大学, 2010年, 29-41頁
- 「近代日本における宗教と教育——公教育における宗教教育の歴史」宗教教育研究会編『宗教を考える教育——なぜ宗教教育が必要か』教文館, 2010年, 11-36頁
- 「道元と時間論」実存思想協会編『実存思想論集18 思想としての仏教』理想社, 2011年, 31-56頁
- “The Three-World Dimension in Japanese Mahayana Buddhism – Ethical Aspects and the Language of Dogen”, Wallner, Hashi (Hg.) *Globalisierung des Denkens in Ost und West*, Verlag Traugott Bautz GmbH, Germany, 2011, pp.22-33.
- “A Study on a Buddhist Idea of Food Consumption”『比較日本学教育研究センター研究年報』第8号, お茶の水女子大学比較日本学教育研究センター, 2012年 181-185頁
- “Tradition of Japanese Zen Meditation” Kalpakam Sankarnarayan, Ravindra Panth, Ven Thich Nhat Tu, Shubhada A Joshi “Buddhist Meditation: Texts, Tradition and Practice ” K.J. Somaiya Centre for Buddhist Studies, Mumbai, India, 2012, pp.327-340
- 「日本仏教における中世と近世——「修行」から「修養」へ——」『人文科学研究』第9巻, 2013年3月, 13-26頁
- (5) 口頭発表
- “A Study of a Position of Ethics in Japanese Mahayana Buddhism” (19<sup>th</sup> World Congress of the International Association for the History of Religions, Mar. 3, 2005, Takanawa Prince Hotel)

「道元思想——世界と自己との関係をめぐって」(シンポジウム:「哲学、倫理、宗教思想——日本とフランス:交差する視点」, 2006年3月29日, ブレーズ・パスカル大学)

“Ethics and Language in Japanese Mahayana Buddhism” (Seminar and Symposium: *Philosophy, Ethics and Religious Thoughts – Japan and France: An Attempt of Comparative Thoughts*, Nov. 9, 2006, Ochanomizu University)

“On Dogen’s Thought of Religious Practice and Enlightenment – An Attempt to Read *Genjo-koan of Shobo-genzo*” (Seminar and Symposium: *Thinking, Doing, Teaching*, Jun. 18, 2006, Ochanomizu University)

“On Dogen’s Thought of the World of the Ultimate Reality. An Attempt to Read *Ikka-myōju* (One Bright Jewel) of *Shobo-genzo*” (Colloque: *Personality and Subjectivity – East and West*, Nov. 10, 2009, Université Blaise Pascal)

“Tradition of Japanese Zen Meditation” (6<sup>th</sup> Bi-annual International Conference on Buddhist Meditation: *Texts, Tradition and Practice*, Sept. 3–5, 2010, K.J. Somaiya Centre for Buddhist Studies)

“A Study on a Buddhist Idea of Consumption of Food” (International Conference: *Consumption and Consumerism in Japanese Culture*, Nov. 14–15, 2011, Charles University)

「仏教と倫理——盤珪をてがかりとして」(比較思想学会研究例会発表、2012年2月24日、大正大学)

#### (6) 書評

「スチョキー「正義を求めて——フェミニズム的視点からの宗教的多元主義」・リユースー「フェミニズムとユダヤ教——キリスト教との対話——宗教的真理の探求における特殊主義と普遍主義」『淳心学報』第9号, 現代人文科学研究所, 1991年, 145-149頁

「苅部直『光の領国——和辻哲郎』『日本思想史学』第28号, 日本思想史学会, 1996年, 199-204頁

「魚住孝至『宮本武蔵——日本人の道』実存思想協会編『実存と歴史』理想社, 2004年, 199-203頁

「植木雅俊『仏教とジェンダー』『比較思想研究』第31号, 比較思想学会, 2005年, 97-99頁

「小林道憲『文明の交流史観——日本文明の中の世界文明』『地球システム・倫理学会会報』第1号, 地球システム・倫理学会, 2006年, 73-76頁

「島藺進『スピリチュアリティの興隆——新霊性文化とその周辺』『地球システム・倫理学会会報』第2号, 地球システム・倫理学会, 2007年, 126-129頁

「千歳栄『山のかたちをした魂』『地球システム・倫理学会会報』第2号, 地球システム・倫理学会, 2007年, 146-149頁

「竹村牧男他編『共生のかたち——「共生学」の構築をめざして』『地球システム・倫理学会会報』第3号, 地球システム・倫理学会, 2008年, 131-134頁

「今西順吉『心』の秘密——漱石の挫折と再生』『比較思想研究』第37号, 比較思想学会, 2011年, 120-122頁

#### (7) 受賞

1990年6月 比較思想学会第2回研究奨励賞

1996年3月 第4回中村元賞

#### (8) その他

「名著再読 和辻哲郎『日本精神史研究』『日本の仏教 ②アジアの中の仏教』法蔵館, 1995年, 233-237頁

「仏教に学ぶ心の教育」『心の教育実践大系6 芸術・宗教に学ぶ心の教育』日本図書センター, 1999年, 24-29頁

「宗教と教育——二十一世紀に向けて」峰島旭雄編『二十一世紀への思想』北樹出版, 2001年, 319-327頁

「現代日本における宗教教育の諸問題についての研究——宗教教育の必要性とその可能性をめぐって」『平成11年度研究・活動助成報告集』, 庭野平和財団, 2003年, 67-71頁

「貞閑尼のこと——江戸前期を生きた一人の尼僧」『宝積』29号, 宝積比較宗教・文化研究所, 2006年, 25-27頁

「道元思想構造」魅力ある大学院イニシアティブ『<対話>と<深化>の次世代女性リーダーの育成』(平成17年度活動報告書), お茶の水女子大学大学院人間文化研究科, 2006年, 128-32頁 (フランス語訳 “La structure de la pensée de Dogen”, pp. 287-291.)

「仏教と倫理——日本仏教をてがかりとして」『地球システム・倫理学会会報』第2号, 地球システム・倫理学会, 2007年, 114-119頁

「『空』の真理 道元の「開悟成道」——師・如浄との出会い」井上ひさし『道元の冒険』上演パンフレット「解説」, 2008年, 10-11頁

「親鸞と道元——その「悪」の理解をめぐって」『アンジャリ』16号, 親鸞仏教センター, 2008年, 24-25頁

- 「生命をめぐる倫理の新たな潮流について」『地球システム・倫理学会会報』第3号, 地球システム・倫理学会, 2008年, 108-112頁
- 「道元思想——その無常観をめぐって」『大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」平成20年度活動報告書 海外教育派遣事業編』, お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科, 2009年, 209-214頁
- 「親鸞の「他力」思想——「自己」と「他力」の反転をめぐって」竹内整一他編『「おのづから」と「みづから」のあい——公共する世界を日本思想にさぐる』東京大学出版会, 2010年, 227-255頁
- 「道元」『古寺をめぐる心の法話——永平寺福山諦法』朝日新聞出版, 2011年, 16-17頁
- 「解説」, 和辻哲郎『道元』河出書房新社, 2011年, 184-191頁
- 「道元と西洋哲学——「エアアイグニス」と性起の間」『大法輪』2月号, 大法輪閣, 2012年, 80-83頁
- 「瑩山」『古寺をめぐる心の法話 總持寺江川辰三』朝日新聞出版, 2012年, 16-17頁
- 「道元をかえた老典座との出会い」『別冊太陽 日本のこころ197 道元 いま、此处、このわたしを生きる』平凡社, 2012年, 34-35頁
- 「道元の死生観」『別冊太陽 日本のこころ197 道元 いま、此处、このわたしを生きる』平凡社 2012年, .91頁
- 『「正法眼蔵」は何を語っているのか』『人間会議』冬号2012年 特集: 禅を日常に生かす、事業構想大学院大学出版部, 2012年, 32-37頁
- 「道元に学ぶ生き方」上・下『東京新聞』『中日新聞』等、2013年2月2,9日
- 「近世・近代の仏教」(竹村牧男、高島元洋『仏教と儒教—日本人の心を形成してきたもの—』第7章, (放送大学・放送教材と印刷教材)、放送大学教育振興会、2013年, 111-125頁
- 「仏教と日本文化」(竹村牧男、高島元洋『仏教と儒教—日本人の心を形成してきたもの—』第8章, (放送大学・放送教材と印刷教材)、放送大学教育振興会、2013年, 126-142頁

### 3. 主な社会活動

#### (1) 非常勤講師

- 工学院大学 (1989年4月~1991年3月)
- 松本短期大学 (1989年4月~1990年3月)
- 東京大学文学部 (2001年4月~2002年3月, 2010年4月~2013年3月)
- 法政大学文学部 (2007年4月~現在)
- 放送大学 (2011年1月~現在)

#### (2) 学会活動

- 比較思想学会評議員 (平成15年~)
- 比較思想学会研究奨励賞選考委員 (平成15年~16年)
- 日本仏教総合研究学会評議員 (平成17年~)
- 地球システム・倫理学会理事 (平成18年~)
- 地球システム・倫理学会第2回大会実行委員 (平成18年)
- 日本倫理学会大会実行委員 (平成18年~19年)
- 比較思想学会編集委員 (平成19年~)
- 実存思想学会編集委員 (平成19年~)
- 地球システム・倫理学会第6回大会実行委員長 (平成21~22年)
- 比較思想学会理事 (平成23年~)
- 比較思想学会第39回大会実行副委員長 (平成23~24年)
- 比較思想学会企画運営委員 (平成23年~)
- 日本倫理学会評議員 (平成24年~)